

二十年分の感謝、 そして決意を胸に

祝・成人

令和2年1月12日 成人式

1月12日、妹背牛町民会館で令和2年成人式が行われました。

今回の翔たいむはワイド版です。成人式という人生に一度しかない行事を、実際に成人を迎える笹尾翔大がレポートします。

今年成人を迎えたのは平成11年4月〜平成12年3月生まれの33名。その内31名が出席しました。

妹背牛町の成人式では、「二十歳の抱負」として新成人一人ひとりが前に出て、近況や親への感謝、これからのことについて話します。久しぶりに顔を合わせる同級生も多く、今どこで何をしているのかを知る機会にもなります。小中学校の思い出話をす



「二十歳の抱負」では後ろに小、中学生時代の自分が映し出されました

る人も多く、あのとときこんな事をして怒られた、こんなトランプをみんなで乗り越えたなど会場に笑いが起こる場面があったり、涙を流しながら感謝の言葉が伝えられました。中には、その場で両親へプレゼントを渡すというサプライズを行った人も。クラスメイトが将来何になることを目指している、今何を頑張っているのかを知ることができ、「自分も負けてられない



両親へ旅行券を渡すサプライズ

いな」と思いました。自分の番になり前に置いてある台に上ると、急に緊張してしまい、うまく話すことが出来ませんでした。友人には「それはそれでお前らしいよ」と言われてしまいました。もっと成長できるよう頑張ります…。自分の近況や目標などを言葉にして口に出すのはちょっと恥ずかしい面もありますが、一人ひとりが時間をもらえて話すことが出来るのはとてもありがたく二十歳の自分が何を考えていたのが再確認でき、貴重な時間だったなと感じました。「新成人誓いの言葉」では新成人から代表2名がステージ上でこれまでの感謝や、これからのこ

モー突進レポート

翔

SHOW TIME
たいむ
vol.9



ワイド版





スーツや袴がよく似合っています



振り袖姿で記念撮影



共に汗を流した仲間たち、恩師と



タイムカプセルが開けられ手渡されました

新成人代表2名による誓いの言葉

とについて読み上げます。今年の代表は西田皓紀さんと河村清可さん。堂々とした様子で落ち着いて読み上げてくれました。自分も見習わなければと感じました。同級生から学ぶことも多いですね。

式の後には、記念撮影となるのですが、台がセットされ、あとは並ぶだけの状態からみんなはなかなか前に進みません。思えば子どもの頃から急に变な場面で迷い、ちゅうちょしてしまうことが多かったクラスだったなと思いついてしまいました。式の後にはそのまま茶話会が行われます。久しぶりに会った友人と会話を楽しんだり、スーツや振り袖姿で写真撮影を楽しみました。

妹背牛町という小さな町に生

まれ、一クラスしかなかった僕たちは、小学校、中学校とずっと一緒に過ごしてきました。嬉しいこと、楽しいこと、悲しいことや悔しいことをみんなで共有し、同じ思い出を作ってきました。小さい町の少ない人数のクラスだからこそ、今までみんなで濃い時間を過ごすことができ、仲がいろいろだったと思います。みんなのことはこれからも何かあった時に話し合い、支え合っている存在と思っています。そんな仲間たちと一緒に成人式を迎えることが出来たのは、とても嬉しかったです。そしてこれからもみんなに恥ずかしくないように頑張ろうと気を引き締めなおすきっかけにもなりました。

